

泉井集落センター

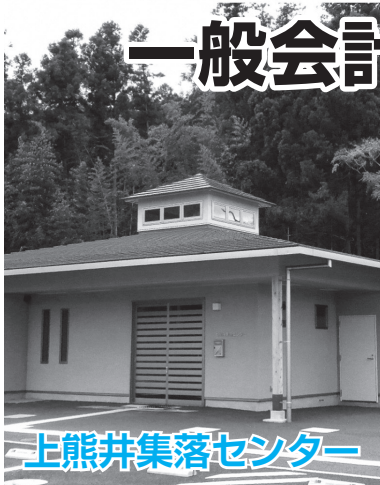


泉井交流体験エリア

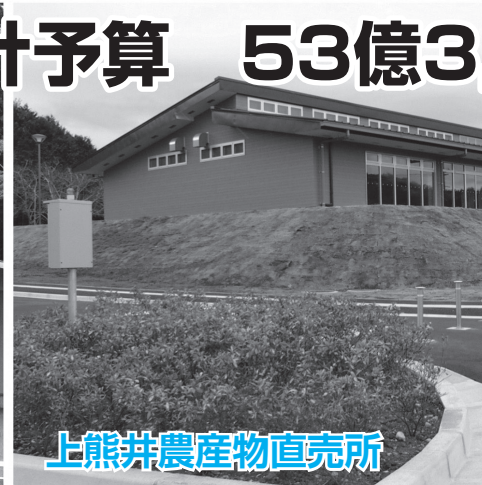


ハコモノ終わって緊縮予算

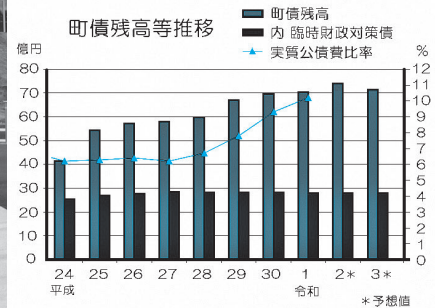
一般会計予算 53億3,000万円



上熊井集落センター



上熊井農産物直売所



第1回定例会

令和3年度 一般会計予算

歳入

個人町民税

問 前年度に比べ4000万円ほど減少しているが、理由は。

答 急速な少子高齢化により町民税は減少傾向にあるが、これに加え、新型コロナウイルスの影響もあり、令和3年度は大幅な減少となる。減収額を約1367万円と見込み、前年度比でマイナス4215万円とした。

地方交付税

問 8400万円の増額となっている。根拠と算定基準は。

答 地方税収の大幅な減少による地方の財政不足

歳出

町内循環バス

問 町内循環バスの利用が減っているのに、159万円の増額となっているが、理由は。また、近々車両の入替え時期も来るよつで、2000万円程かかるというが、

まちづくり応援寄附金

問 まちづくり応援寄附金(ふるさと納税)が3倍に増えている理由は。

答 ふるさと納税の返礼品として「ゴルフ場一日プレー券」等で、寄附額が増えている。令和3年度も大幅に伸びると見込んで計上した。

町営路線バス

問 4370万円計上の町営路線バスは、地方創生事業の滞在回遊型観光小さな拠点づくりを視野に入れていいのか。

答 上熊井農産物直売所、泉井交流体験施設への利用を考えた路線を運行することにより、町外の人もバスを利用し、これら施設へ引き寄せることを検討していく。

デマンドタクシー

問 デマンドタクシーの予算では、昨年に比べ約800万円増額となっている。その理由は何か。

令和3年第1回定例会が、3月1日から12日までの12日間にわたり開催されました。提出議案は専決処分承認に関するもの1件、条例の改正に関するもの8件、指定管理者の指定に関するもの1件、令和2年度一般会計及び特別会計等補正予算に関するもの9件、令和3年度一般会計及び特別会計等予算に関するもの7件、町道路線の認定に関するもの1件の27議案で、全議案とも可決・承認されました。また、一般会計当初予算に対する附帯決議案が可決されました。請願が1件提出され採択となりました。

また、運行経費中の運行支援業務委託料とは何か。

答 町外運行に係る支援業務委託料約400万円を追加で見込んだ。これは町外運行や土日運行に関する交通事業者との調整、運行計画の作成、運輸局に提出する書類の作成、地域公共交通会議の資料作成などを委託する費用となる。また、3号車の車両更新に伴うリース料が増額となる。国庫補助金が若干減ることもあり、これらを合わせ、約800万円増額した予算となった。今回はデマンドタクシーの台数追加計画はない。



町のデマンドタクシー

町道第1号線整備事業

問 町道第1号線の整備に伴う農地影響詳細調査委託料300万円について、何を調査するのか。

答 令和2年度に行った農地の水利等への影響調査に基づいて、どういった整備が可能になるのか詳細な調査を民間のコンサルティング会社に委託するもの。

子ども子育て支援給付金

問 大幅増額の理由は。

答 町内小規模保育所や町外保育所へ支給するもの。年度により、これらの施設を利用する家庭の増減があり、来年度は多いということ増額を予定する。

総合相談支援事業委託料

問 前年度に比べ409万円増額の理由は。

答 支援員は2人体制だったが、令和3年度は1人増員し事業の拡大、サービスの向上を図っていくための増額。

ダイオキシン類濃度分析

測定等委託料

問 委託内容と委託先はどこか。

答 黒松の植栽業者が管理し、濃度分析は㈱環境総合研究所へ委託する。

給食センター管理費

問 管理費が320万円増加している。児童、生徒が減少しているにもかかわらず、電気料・人件費が上がった等、追加経費が掛かりすぎではないか。

答 配送用トラック2台のタイヤの交換費用。および、毎年、調理員の募集をかけているが、集まらないので、給食調理業務の簡単な作業を外部に委託することを計画しており、そのため予算。



学校給食センター

その他重要質疑は4・5ページに続く

一般会計予算討論

《反対討論》

前年比で8億5600万円の縮小予算である。予算編成の平準化を考えるべきである。障がい者への補助金等を多く確保し、里山を活かす政策や図書館の配達サービスなど、住民要望の実現を要望する。また、国や県への要望が大変弱いと考える。(根岸)

無印良品の企業誘致奨励金3000万円の支出が本年度で終わったが、泉井交流体験エリアと上熊井農産物直売所の指定管理費はそれ以上かかる。箱物行政を急ぎすぎた。地元対策費の使用期限を支給年度内と変えた経緯が不明だ。公共施設の老朽化に伴う修理や、インフラの整備を計画的に進めるべきである。(森)

《賛成討論》

交流体験エリア・農産物直売所の運営開始と路線バスの融合による滞在回遊型観光等の創出。デマンドタクシーの町外運行等。学童保育分室やファミリーサポートの導入など、子育て支援の充実。防災では、谷埋型盛土造成地危険度調査による安全の確保など、評価できる。加えて、町債を抑え、堅実かつ町の活性化に繋がる予算だ。(日坂)

されることに期待する。アライグマの回収処分に多額の予算が付いたが、適確な判断・分析・創意工夫ができる業者を選定されたい。8050問題など課題を抱えた方の相談体制の更なる充実、参加支援、支え合える地域づくりの推進を望む。(野田)

町債を大幅に圧縮し、町の抱える財政課題の取り組みは評価するが、特産品販売施設他の廃止処分予定の施設、及び保有する絵画など美術品の早期処分を実施し、持続可能な財政運営並びに行政サービスの向上の実現を目指すことを申し添え、賛成討論とする。(石井徹)

北部地域活性化の借金の返済が6億5000万円となり、緊縮財政だが、福祉に割り当てる努力が見られ賛成する。ただし、①事業予算内に収める。②少ない予算の中、出来ることに前向きに取組む。③問題を先延ばしせず、スピード感をもって取り組む。④外注に頼らず、出来る事は自らやる。以上強く要望する。(関根)

デマンドタクシーの町外運行等が具体的に評価できる。(中山)